

杉並区立荻窪小学校 学校運営協議会だより

R 4 . 2 . 2 4

令和 3 年度 第 10 回 学校運営協議会報告

今年度第 10 回目の学校運営協議会が、2 月 2 2 日（火）に行われましたので、お知らせいたします。

日時 2 月 2 2 日(火) 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0

場所 荻窪小学校 荻小ホール

会議内容

- ① 佐野会長 あいさつ（最近のコロナ感染に関すること）
- ② 西脇校長 あいさつ（学校の様子、今後の予定など）
- ③ 協議 ・学校運営の状況（感染対策と教育活動）
 - ・令和 4 年度教育課程届について
 - ・特色ある教育活動予算について

協議の後には、令和 3 年度 学校関係者評価委員会を行い、各委員の評価について共有しました。

学校関係者評価より

各委員の評価を共有していく中で、「小中一貫教育」について話題になりました。

杉並区教育委員会では、義務教育期間の終了までに子供たちの人生の基盤となる学力や体力、社会性を確実かつ調和的に育成するために、「杉並区小中一貫教育基本方針」及び「すぎなみ 9 年カリキュラム」を策定し、多様で一貫性のある教育（これを「小中一貫教育」と呼んでいる）を推進しています。

荻窪小は、宮前中・久我山小とで連携グループになっており、年 1 回、お互いの授業を見合う研修会を実施しています。お互いの校種の児童生徒の様子を知ること、それぞれの指導や授業に生かすことができます。（ここ 2 年間は、新型コロナウイルス感染症の状況により、授業を見合う研修は中止となり、教員間の情報交換を行いました。）また、6 年生が宮前中学校へ授業体験や部活体験に行ったり、中学生が全校児童に向けて合唱を披露しに来てくれたりしています（これらの交流もこの 2 年間は中止となっています）。子供たち自身が中学生と触れ合うことで、近い未来をイメージすることにつながっています。

さらに、子供の成長や発達に応じて順序立てた目標や内容（系統性）や、学習の成果を確かに身に付け、それを次の段階でより高めていく方法（連続性）、異校種や学校と地域の生かし合い（協働）について具体的な事例が示されている「すぎなみ 9 年カリキュラム（国語編、算数・数学編、外国語教育編、総合的な学び編）」を活用し、授業づくりをしています。

「小中一貫教育」については、CS 委員の皆様にとっても保護者の皆様にとっても見えにくい部分であると思います。また、その他の項目についても実際に見ていないこともあり、評価が難しいという意見もありました。来年度に向けて、見てもらう、知ってもらう機会がもてるように学校運営協議会のもち方を工夫していくことになりました。

次回の予定 3 月 1 5 日（火）1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0

文責：副校長 加藤